

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	・ふるさと岐阜への愛着と誇り、平和やよりよい未来を築く力をつける主題研究及び「陽南Mirai's」の充実	A	・アンケート項目「将来について夢や希望をもって取り組んでいる」から保護者、生徒共に7割近く肯定的な回答が得られた。 ・総合的な学習の時間において、校区や岐阜の魅力調べ、探究的な学習を行うことができた。	・3年生の生徒版インテンシブでは、どの生徒もそれぞれの個性を感じるテーマを選び、追究したことを発表できていた。 ・クイズを取り入れたり実現したりするなど、相手意識をもった発表が多くあり、表現力が高まっていると感じた。	・今後も総合的な学習「陽南MIRAI's」を継続し、3年生における生徒版インテンシブの探究活動を充実させる。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	・学校運営協議会との協働による教育活動の充実	B	・アンケート項目「地域の活動に進んで参加している」から教員からは7割、保護者、生徒からは4割程度肯定的な回答が得られた。 ・校区の施設訪問(1年)や、企業見学(2年)を実施した。校区の行事にボランティア参加できた。	・今後も保護者や教育委員会を巻き込んで、生徒が喜びを実感できる学校運営をしていきたい。学校運営協議委員は学校の応援団でありたい。	・来年度は、支援推進委員会の協力のもと、親子で聞くことができる講演などを企画し、本物に触れる機会を増やす。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	・生徒会活動を中心とした異年齢集団活動の充実	A	・アンケート項目「仲間の頑張りやよさを認め、声をかけたり、共に活動に取り組んだりしている」から教職員、保護者、生徒から9割強の肯定的な回答が得られた。 ・生徒会活動において、異学年と交流し、よさを認め合う活動を行った。	・体育大会における団の結成を始めてから3年経ち、互いに応援し合う姿がよくなった。異年齢集団での活動は、いじめ防止にもつながるため、継続してほしい。	・生徒会活動を軸にして、日常生活での異学年との交流を継続していく。
子どもたちが安心して学べる学校づくり	・健康アンケート及び「ここタン」等を活用し、生徒一人一人に寄り添う教職員集団	A	・職員アンケート項目「健康アンケートや、ここタン、生徒保護者との対話を大切に、個別の支援に生かしている」から、肯定的な回答が100%得られた。 ・健康アンケートやここタンと共に日常生活の様子から生徒の思いに寄り添うことができた。	・誰もが、声をかけ合うことができる学級や学校を目指していきたい。 ・ここタンでボタンを押すことができない子がいるかもしれないという意識をもって、大人が見守っていくことが大切である。	・今後も、ICT機器を活用することによって増えた時間で、生徒との対話を増やし、生徒が安心して生活できる環境づくりを目指す。
災害、事故に対する安全性の確保	・生徒の命、安全を最優先とし、組織で対応できる教職員集団	A	・職員アンケート「保健や防災に関する取組は、生徒の保健安全に関する関心や意識を高めることができた」から、肯定的な回答が100%得られた。 ・命を守る訓練の実施を通して、職員の組織的な対応の仕方を、確認してきた。	・教員と生徒が、一緒になって活動することで、生徒が心身ともに健康に生活できている。	・危機管理について全職員で共通理解をして、組織で動くことを継続する。訓練では、職員が本気で取り組む姿を生徒に示し、生徒に命を守る行動の重要性を示す。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	・ICT機器を活用した学習指導及び業務改善	A	・職員アンケート項目「ICTを活用し、効率よく仕事ができるように努めている」から、肯定的な回答が96%得られた。 ・学習支援ツール(ロイロノート)を用いた授業を多く仕組むことができた。	・ICTを活用することが目的ではなく、必要な時に必要な道具の一つとしてICTを活用している生徒の姿があり、よかった。	・ICT機器と紙媒体のそれぞれのよさを生かして使用をしていくことで、業務改善をすすめていく。